

塩治コミュニティセンター報

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

電話/0853-21-0248 Fax/0853-21-3837
メールアドレス/enya-cc@local.city.izumo.shimane.jp

No.222 [2026年9月20日発行]

塩治地区の世帯数と人口 令和8年8月末現在	
世帯数	7,661世帯
人口	15,689人
(男)	7,598人
(女)	8,091人

就任のご挨拶

塩治自治協会
副会長 坂本 正人



本年度から塩治自治協会副会長を務めることになりました坂本正人です。

自治会加入率の低下、役員等の担い手不足、住民意識の変化など自治会を取り巻く状況には厳しいものがありますが、安全で安心して暮らせるまちづくりのためには地域住民のつながり、支え合いがとりわけ重要であると考えています。

私は塩治に居住して7年経ちますが、この間、更生保護や社会福祉などの地域活動に携わり、また、近年、各地で発生した自然災害等への対応からこの思いを一層強くしたところです。

住みよい塩治のまちづくりのために、地域の皆様と共に取り組んで参りたいと思いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



こんな事業を行いました！ —自主企画報告—

今年度の自主企画事業が5月からスタートし、多くの皆様にご参加いただいています。今後も色々な企画を計画しています。ぜひご参加ください。

夏休み子ども学習会

7月28日(火)～8月7日(金)

新規事業として夏休み中の7日間（午前9時から11時）夏休み子ども学習会を開催しました。

学習支援者として島根大学医学部の学生19名（延べ36名）に協力いただき、小学生64名（延べ248名）が、エアコンの効いた集会室で学習しました。

子どもたちは夏休みの宿題を終えることを目標に時間いっぱい取り組みました。いつもと違う場所で静かに学習することはなかなか難しかったようですが、休憩時間にはアイスを食べ、普段別々に遊んでいる子どもたちが一緒に遊ぶ時間もあり楽しんでいました。迎えに来られた保護者からは「子どもが喜んで参加している」、「来年もお願いします」という声もありました。夏休みの子どもたちの居場所づくりとして来年度も計画したいと思います。



大人の社会科見学

女性部

5月15日(金)

笠木農場アトリエ見学会と題し、バスに乗って大田市へ出かけました。羊の飼育から工業製品の販売までを自身で手がける羊毛作家の笠木真衣さんにお話を聞きました。活力に満ちた笠木さんの人生観や、海外にも進出する行動力にとっても関心が深まり、地域の魅力や課題を考える機会となりました。普段体験することのない羊とのふれあいも刺激となり、参

加者 25 名は有意義な時間を過ごしました。



区民ハイキング

まちづくり部

5月19日(火)

23名が参加して古志町へ向かいました。放れ山古墳からスタートして古志の堤跡、久奈子神社をまわり展望台まで行き、久奈子神社入口まで引き返すコースを歩きました。当日は天気恵まれて絶好のハイキング日和となりました。汗ばむような陽気でしたが、木陰があり吹く風も爽やかで、参加者同士で会話を楽しみながら歩きました。久奈子神社の展望台からは、ずっと眺めていたくなるような素晴らしい景色が広がっていました。皆さん自分たちが暮らしている町並みを確認し喜ばれていました。



廃食油石けん作り

女性部

6月6日(土)

参加者スタッフあわせて12名が参加しました。油汚れに強く、泥汚れや服についたシミなどがよく落ちると評判の廃食油石けん。今回はご愛用者の参加が多く、使用歴ベテラン級の方からは「溶かして液体石けんにしたりお風呂洗いやにも使用している」という活用方法を教えてもらいました。廃食油石けんは最強です！



EMぼかし作り

まちづくり部

6月13日(土)

5名が参加して、EMぼかしと発酵液を作りました。EM（有用微生物群）のはたらきで作られるEMぼかしは、生ごみに混ぜることで良質な肥料をつくり出します。また土壌改良材としても使うこともできるそうです。参加者は活用方法や注意点を質問しながら楽しく作業しました。次回は来年3月に開催予定です。興味のある方はお気軽にご参加ください。



ふるさと探訪

まちづくり部

6月26日(金)

31名が参加してバスで^{くち}田儀に出かけました。朝から雨が降っていましたが、時間が経てば雨は弱まるという天気予報を信じて現地へ向かい、手引ヶ丘公園から越堂たたら跡とガイダンス施設、源蔵塚麓へと巡りました。残念なことに探訪中はずっと雨が降り続いており、思うように動けないところがありましたが、スタッフによる国引き神話や、江戸時代初期から明治時代にかけての話を興味深く聞き入り、皆さん各所での見学を楽しまれていました。



手引ヶ丘公園



越堂たたら跡



越堂たたら跡ガイダンス施設



地域を知ろう

青少年部

7月25日(土)

伊藤牧場

昨年に続きバスツアーを企画し、小学生20名と保護者スタッフ20名が参加し牧場のパン屋さんカウベル（伊藤牧場）と八雲風穴に出かけました。牛舎では大きな哺乳瓶を使いミルクをあげたり、聴診器で仔牛の心臓の音を聞きました。牛のことについて興味深く質問し、命の大切さや酪農家の仕事の大変さを学びました。ピザ作り体験では子どもたちが二人一組で具材をトッピングし、本格的な石窯で焼きました。自分たちで焼いたピザの味は格別でした。八雲風穴では山腹からの自然のクーラーの冷たさを体感し、地下3階までである中は、下に行くほど冷たく驚いていました。身近にある地域を知るきっかけになったことでしょう。



仔牛とのふれあい体験



本格的な石窯でピザをやいたよ



牧場のパン屋さんカウベル ピザ作り体験



聴診器で仔牛の心臓の音を聞いたよ



仔牛にミルクをあげる体験



八雲風穴



バスツアーたのしがった。



災害対策委員会研修会

塩冶地区災害対策委員会は、8月23日（日）午前10時から、防災安全課 曾田昌暁課長補佐を講師に迎え、災害対策委員会の役員・自治委員の皆様60名の参加で、研修会を開催しました。

塩冶地区は1級河川の斐伊川・神戸川や斐伊川放水路、2級河川の赤川や塩冶赤川等中小河川も多くあるので、豪雨による内水氾濫等浸水被害が心配される地区となっています。研修では、自分の住んでいる場所の状況を知っておき、普段から災害に対する意識を持っておくことと災害時の行動に活かせると話されました。

本年5月に改定された気象庁から発表される防災気象情報は、5段階の警戒レベルにあわせた数字を付して防災情報が提供されるので、警戒レベルに応じた行動をとるべきであるとのことでした。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の崩壊や 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの） 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

避難の行動をする際には、気象庁の「キキクル」や市防災無線の情報など正しい情報を収集したうえで早めに身を守る行動をとることが大事だということと、避難する時は、指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた近くの頑丈な建物の上層階に避難するなどの安全確保行動をとることも重要だと説明がありました。

そして、いざという時のために日頃から非常持出品などを準備しておき、ひとたび災害となれば隣近所で声をかけあって避難することでたくさんの命を救うことにつながるといわれました。

普段からの地元のつながりが大切だということを改めて感じた研修となりました。



5月20日(水)

鳥取県湯梨浜町との交流

東郷歴史研究会

神門寺で東郷浪人踊りを奉納される

(塩冶判官高貞公ゆかりの地めぐり)

5月20日に、鳥取県湯梨浜町より東郷浪人踊り保存会と東郷歴史研究会の21名が塩冶判官高貞公ゆかりの地をめぐる見学会で塩冶を訪れられ、センター長をはじめ歴史ファンや踊りの見学の為に集まっていた方々と楽しい交流の場を持つことができました。

塩冶と湯梨浜（東郷）の関係は平成30年に塩冶歴史探訪の会で高貞公の次男と言われる南条貞宗公の足跡を追って倉吉市・湯梨浜町を訪ねた経緯があります。伯耆地方においては東郷にある^{う え しじょう}羽衣石城を築城して最初の城主となった南条貞宗が高貞公と妻であった西台の次男にあたると今日まで伝えられています。その後南条家は約250年間10代続きますが、関ヶ原の戦いで西軍についていたため敗軍となり廃城と



になりました。四散した南条の浪人たちがお盆の時期になると東郷湖のほとりにどこからともなく集まり供養踊りを行い、夜明けと共にまたどこかへ散っていったと言われ、この踊りが「浪人踊り」の始まりとされています。昭和37年に県の無形民俗文化財に指定されました。

一行は塩冶コミュニティセンターに10時半過ぎに到着され集会室にて簡単な挨拶を交わし、保存会の方々の長年の願いであった神門寺での浪人踊りの奉納（菩提寺での奉納）をすることとなりました。先ず、

寺の高貞公の墓と伝わる五輪塔にて焼香していただき、本堂前の庭にて踊りを奉納され、長い間伝えられてきた踊りであるが、静かな哀調をおびた踊りに見物に来られた地元の方々と心をうばわれるひと時を共に過ごさせていただきました。

午後は先方が望んでおられた高貞公の塩冶に残る跡地として、築山地区にある高貞社跡（判官碑）を最初に案内して、次は塩冶神社へ行き、平成17年に制作した出雲塩冶太平記絵巻を披露しました。



絵巻には東郷浪人踊が描かれており、参加者一同大変感動されていました。その後、向山地区にある塩冶氏の山城とされる^{おおさこ}大廻城跡をバス車中より案内し、最後は遠く宍道町白石にある高貞公の終焉の地（生涯灘）の墓を案内しました。

今後も、高貞公がつかないでいただいたこのご縁が、未永く続いていくことを願っていますと塩冶を後にされました。

(寄稿：石崎弘美)

青パト隊 防犯教室参加 7月2日(木)

塩冶小学校の1年生と6年生を対象に防犯教室が行われ、塩冶青色防犯パトロール隊から3名が参加されました。1年生の教室では、防犯標語「イカのおすし」の話のあと、知らない人に声をかけられた時の対応についてロールプレイを通して確認し、青パト隊の活動も知ってもらう機会になりました。

今後も地域の子どもたちの安全・安心をサポートする見守り活動を続けていきます。



「イカのおすし」のパネル



6年生の防犯教室で自己紹介

ようこそ 塩冶コミセンへ!

塩冶小学校2年 町たんけん 9月8日(火)

塩冶小学校2年生の児童が生活科の学習「町たんけん」でやって来ました。センター長がスライドを使って、塩冶の地域活動に関することやコミセンのことなどを説明しました。



子どもたちは真剣に聞きメモをとりながら学び、その後館内の各部屋を先生とまわり職員に質問をしながら見学しました。

中学生職場体験 9月9日(水)~11日(金)

出雲第二中学校の3年生2名が、職場体験でコミセンを訪れました。受付の仕事や、ふれあいまつり、高齢者福祉大会の準備のお手伝い、図書室の書籍の整理など慣れない作業に少し苦戦しながらも、根気よく取り組んでいました。グループ活動にも参加し「塩冶いきいきUP健康教室」では一緒に体操をしたり、「料理やろう会」では調理実習に参加し、地域の方々とも交流を深めました。また、コミセン職員に「働くことについての意識」などをインタビューしました。



島根大学医学部看護学科 3年生 看護学実習

5月21日(木)

島根大学医学部看護学科の3年生34名が、看護学実習のため塩冶コミセンでフィールドワークを行いました。センター長がコミセンの活動や塩冶地区の特徴、健康課題や健康づくり活動について話をした後、学生たちは各グループに分かれ、地域の方々やコミセン職員へインタビューを実施しました。

ーインタビュー抜粋ー

- ・仕事と健康との両立
- ・働き盛り世代の生活や健康管理の状況
- ・生きがいや健康の秘訣
- ・地域のつながりや助け合い、困っていることや課題

はじめは緊張しながらインタビューしていた学生も生活や健康に関する話を聞き、住民の方から学ぶ楽しさを感じ、今後の地域での課題や看護の役割を考える機会となったようです。



ご 寄 贈 お 礼

出雲市更生保護女性会塩冶支部 様
雑 巾 (20枚)
ひまわりの花植え

いつもありがとうございます



今後の予定

9月27日(日)	塩冶地区体育大会
9月30日(水)	食を学ぶ
10月17日(土)	塩冶ふれあいまつり
10月29日(木)	花を植えて街をきれいに
11月7日(土)	文化祭
8日(日)	〃
11月16日(月)	そば打ち講習会
11月18日(水)	ふるさと探訪
11月 未定	こんにゃく作り講習会
12月1日(火)	寄せ植え教室
12月6日(日)	えんやっ子フェスタ
12月24日(木)	館内一斉清掃
25日(金)	〃
12月 未定	豆腐作り講習会
12月28日(月)	仕事納め